

「営農意欲の衰退」に歯止めをかける！

～地域全体の獣害対策意識の向上～

農事組合法人 元丈の里営農組合

●集落（地区）の概要

- ・所在地：多気郡多気町波多瀬
- ・戸数：71戸
- ・農地の状況：水田31ha
- ・主な作物：水稻、麦、大豆、白菜、薬草
- ・主な加害鳥獣：シカ、イノシシ



●活動の様子

営農組合と住民、企業の協働で、山裾に設置した侵入防護柵の点検作業と補修作業を実施

「守り」の獣害対策

小さな通路も歩く



イノシシが掘ってできた穴



切株がシカのジャンプ台に



鉄柵を破る



鉄柵を破る



のり網を追加



穴をふさぐ



防護柵のかさ上げ



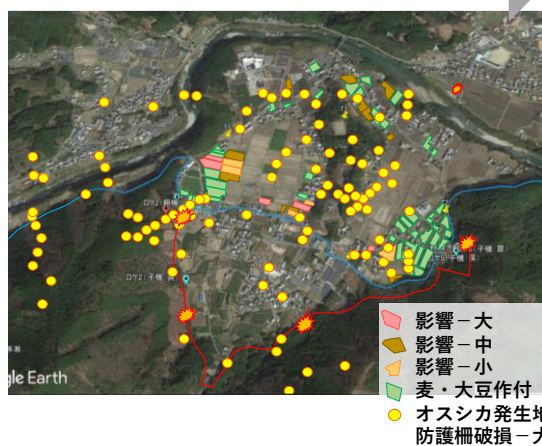
樹脂メッシュと石で補修



樹脂メッシュと石で補修

スマート農業（マイクロフォンを利用したオスシカの鳴き声地点の特定）

スマート農業（捕獲率の向上と労力軽減）



本成果の一部は農林水産省「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト（農業インフラの多目的活用による多面的機能発揮と強靱な中山間農業のための技術体系の実証）」（事業主体：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構）を活用した。

「攻め」の獣害対策

●取組内容

- ・獣害による「営農意欲の衰退」に歯止めをかけ、高齢者が中心の地域農業を次の世代に“**獣害付き**”で残さないよう、**獣害対策を地域全体で行える仕組みやノウハウを蓄積し、伝承**していくため、獣害対策の本格化に動き出した。
- ・専門企業に助けを求め、地域獣害のステップ図の作成、罠の仕掛け方、侵入対策のレクチャーを受けた。結果、**捕獲率が向上**し、**駆除したものはペットフードとして活用**している。
- ・自治会とともに獣害の侵入防止柵（鉄柵）の点検調査を実施し、**「鉄柵はやぶられない」という固定概念が破られた**ことで、波多瀬地区住民の獣害対策への意識が高まった。また、地域が一丸となり点検・補修をすることで、当事者意識が芽生えた。